

「悔い改めなければ、滅びる」

今日の聖書箇所は、ルカによる福音書13章1節から5節です。

「あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる」とその当時起こりました2つの事件を引き合いに出して、2度も繰り返して語られた言葉です。そして、この箇所は、イエス様が群衆を前に語られた非常に厳しい言葉でもありました。

当時そこにいた人々に語り掛けられたというだけではなく、今のわたしたちにも語り掛けておられることにも、注意する必要があります。言葉の響きからして、警鐘であり、切迫感があります。

イエス様は、そこにいた群衆が、神様のもとになかなか来ようとしないうちに、苛立ちさえおぼえられたのではないのでしょうか。イエス様の十字架を知っているわたしたちも、例外ではありません。厳密に神様の側に立っているといえるのでしょうか。神様の憐れみによって、かろうじて神様の側におり、神様の力をいただいて日々歩んでいるのではないのでしょうか。

イエス様の十字架の贖いなしには、わたしたちは、神様の怒りから逃れることはできません。自分の力では、悔い改めることもできませんし、滅びを待つだけなのです。イエス様の十字架によって、わたしたちは、神さまの怒りから、自らの滅びから救い出されたのです。

これからも、神様の側に立ちつつ、イエス様の十字架を仰ぎ見ながら、それぞれの歩みをなしてゆきたいと願っています。

「主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。

呼び求めよ、近くにいますうちに。

神に逆らう者はその道を離れ

悪を行う者はそのたくらみを捨てよ。

主に立ち帰るならば、主は憐れんでくださる。

わたしたちの神に立ち帰るならば

豊かに赦してください。」 (イザヤ書55章6, 7節)